

ENERGY FRONTIER JOURNAL



エネルギーフロンティア ジャーナル 2021年 冬号 目次



- 時事解説
『2050年カーボンニュートラル』への挑戦
- エネルギーフロンティアの事業紹介
令和2年度第3次補正予算 補助金情報
- エネルギーフロンティアのひとり言
エネルギーフロンティア設立10周年お礼
- イベント情報
グリーン成長戦略情報 ほか

VOL.43



「2050年カーボンニュートラル」への挑戦

2020年に世界中を襲った**新型コロナウイルスの影響**が続くなか、2021年を迎えました。今年のエネルギー業界の行方を左右する**キーワードをピックアップ**しながら、激変が予測される情勢について、皆さまと考えてみたいと思います。何と言っても、**最大のトピックス**は、昨年10月26日、菅総理の所信表明演説「我が国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現をここに宣言する。」との**政治決断への挑戦**が注目されます。

グリーン成長戦略への期待

昨年12月25日、**政府は2050年の脱炭素化に向けた「グリーン成長戦略」**を発表しました。今後**成長が期待される産業（14分野）**への目標やロードマップを示しています。また、令和2年度第3次補正予算として**「カーボンニュートラルに向けた革新的な技術開発」に2兆円の基金**を準備して、経済と環境の好循環を実現する**野心的な研究開発**に対して、10年間継続して支援することも公表しています。

そして、「**再エネ主力電源化**」「**原子力発電依存度低減**」など、エネルギー政策の本格的な転換を目指す「**エネルギー基本計画の見直し**」や、「**水素社会の実現**」に向けた燃料電池や水素インフラの飛躍的普及など、**2030年の通過点でのCO2削減目標の見直しや2050年カーボンニュートラル目標到達**への戦略的な政策が注目されます。

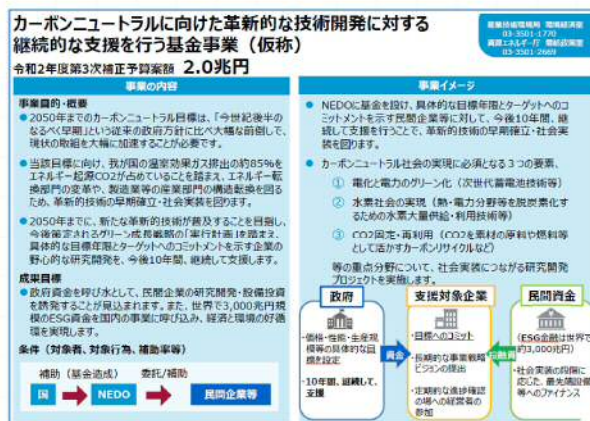
新型コロナからの経済復興「グリーンリカバリー」や世界的な脱炭素へのトレンド

新型コロナの猛威に関する深刻なニュースが溢れる日々が続きます。しかしながら、**コロナ禍で落ち込んだ経済を復興させる際に、気候変動対策も同時に行っていく「グリーンリカバリー」**という考え方も、メディア等で目にするようになってきました。

アメリカにおいては、**バイデン新大統領が誕生**するにあたり、「気候変動」を主要な課題と位置づけ、「**パリ協定への復帰**」も選挙公約として表明しています。**中国**も昨年9月の国連総会において、「2030年までにCO2を減少に転じさせ、2060年までに**脱炭素社会の実現**を目指す。」ことを表明しました。インドなど他の主要なCO2排出国の動向も注目され、**世界中が脱炭素への動きを加速させるトレンド**が予測されます。

また、**日本**においても、経済的な手法として以前から検討されていた、**炭素税やCO2排出量取引など「カーボンプライシング」**の制度化の議論も注目されます。更に、将来の技術的分野としては、**CO2を資源として有効活用する「カーボンリサイクル」**の動向も注目されます。具体的には、CO2を吸収して造るコンクリート材料や藻類のCO2吸収を活用したバイオ燃料などが、実用化に向けて開発競争が熱くなりそうです。

エネルギーフロンティアでは、「2050年カーボンニュートラル元年」とも呼べる2021年を迎え、ご関係者の皆さまとともに、脱炭素社会の実現に向けて、可能なことから1つひとつ、「協働事業」としてお仕事を成し遂げさせて頂きたい、と意思を新たにしております。引き続き、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



出典：経済産業省様「令和2年度第3次補正予算」資料

令和2年度第3次補正予算 補助金情報

昨年末、新型コロナ対策を含めて、「令和2年度第3次補正」の予算内容が公表されました。注目のエネルギー関係の補助金情報に関して、いち早く内容をお伝えします。

経済産業省様「産業・業務部門における高効率ヒートポンプ導入促進事業」

産業・業務部門における高効率ヒートポンプ導入促進事業
令和2年度第3次補正予算案額 46.5億円

事業目的・概要

- 2030年のエネルギーミックス実現、また2050年のカーボンニュートラル実現に向け、コロナ禍の中でも、産業・業務部門における省エネ設備投資を積極的に呼び込むことが重要です。
- このため、大幅な省エネに繋がる産業用ヒートポンプの新設・増設等によるプロセス改善を通じ、大幅なエネルギー消費効率向上を図る事業に対して支援を行います。
- 具体的には、製造工場等の熱プロセスにおいて、一定水準以上の性能を有する高効率なヒートポンプを導入することにより革新的なプロセス改善を行うことで、エネルギー消費効率の大幅な向上を見込む事業に支援を行います。

成果目標

設備投資支援を通じ、長期エネルギー供給見通しにおける令和12年度の省エネ目標(5,030万kWh)の達成に寄与することを目指します。

条件(対象者、対象行為、補助率等)

国 → 民間企業等 → 事業者等

事業イメージ

省エネに繋がる革新的なプロセス改善に必要な設備導入を支援

産業用ヒートポンプ

省エネに繋がる革新的なプロセス改善(例)

省エネに繋がる革新的なプロセス改善(例)

省エネに繋がる革新的なプロセス改善(例)

<補助金適用のポイント>

- ✓ 予算額46.5億円
- ✓ 産業用ヒートポンプの新設・増設等によるプロセス改善により大幅な省エネを実現する事業を支援
- ✓ 具体的には、製造工場等の熱プロセスにおいて、一定水準以上の高効率なヒートポンプを導入することにより、革新的なプロセス改善を行い、エネルギー消費効率の大幅な向上を見込む事業が対象。

出典：経済産業省様「令和2年度第3次補正予算」資料

経済産業省様が予定されている**省エネ補助金**の事業です。特に注目される内容としては、**高効率ヒートポンプの導入に焦点**が当たっている点であり、製造工場等の熱プロセスの改善により、エネルギー消費効率の大幅な向上を実現する事業が支援されます。**新規の補助事業**であり、上限金額や補助率等、補助事業の公募内容の追加情報が注目されます。

環境省様「大規模感染リスクを低減するための高機能換気設備等の導入支援事業」

<補助金適用のポイント>

- ✓ 予算額55億円の内数(他事業含む)
- ✓ 2020年度当初事業としても実施されていた新型コロナ対策への支援事業
- ✓ 飲食店など不特定多数の人が利用する施設を対象に、高機能な換気設備及び同時に導入する空調設備が補助対象。
- ✓ 施設全体で設備導入前に比べてCO2削減できることが要件、補助率1/2。

出典：環境省様「令和2年度第3次補正予算」資料

建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化のための高機能換気設備導入・ZEB化支援事業のうち、
(2) 大規模感染リスクを低減するための高機能換気設備等の導入支援事業

【令和2年度3次補正予算(案) 5,500百万円の内数】

飲食店等への換気設備をはじめとする高効率機器等の導入を支援します。

1. 事業目的

不特定多数の人が集まる飲食店等の業務用施設に対して、高機能換気設備をはじめとする高効率機器等の導入を支援することにより、新型コロナウイルス等の感染症の拡大リスクを低減するとともに、業務用施設からのCO2排出量を削減する。

2. 事業内容

(2) 大規模感染リスクを低減するための高機能換気設備等の導入支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、不特定多数の人が集まるような飲食店等では、屋外が急激に寒化している。そこで、飲食店などの不特定多数の人が利用する施設等に対して、支援対象とならないよう、換気能力が高く、同時に建築物の省CO2に貢献する高機能換気設備等の導入を支援する。

○補助対象設備：高機能換気設備及び同時に導入する空調設備(空調設備は換気設備の金額を越えないこと)

○補助要件：高機能換気設備を導入すること、施設全体で設備導入前に比べCO2削減できること

3. 事業スキーム

■事業形態 間接補助事業(補助率：1/2)

■補助対象 民間事業者・団体/地方公共団体等

■実施期間 令和2年度

○お問い合わせ：環境省地球環境局地球環境化対策課地球環境化対策事業室 電話：05-70-028-341

4. 事業イメージ

業種及び補助対象施設の例

業種(例)	補助対象施設(例)
飲食店、小売店	総合スーパー、小売店、飲食料製造所
不動産賃貸、福祉施設等	不動産賃貸を行う事務所
福祉施設、福祉サービス	福祉施設、福祉サービスセンター、福祉施設、福祉施設
生活関連サービス業、福祉業	福祉施設、福祉サービスセンター、福祉施設、福祉施設
福祉施設、福祉サービス	福祉施設、福祉サービスセンター、福祉施設、福祉施設
福祉施設、福祉サービス	福祉施設、福祉サービスセンター、福祉施設、福祉施設
福祉施設、福祉サービス	福祉施設、福祉サービスセンター、福祉施設、福祉施設
福祉施設、福祉サービス	福祉施設、福祉サービスセンター、福祉施設、福祉施設

高機能換気設備の導入イメージ

高機能換気設備は、自然給気とファンによる排気の逆方向に空気の流れを制御し、給気・排気ともファンにより行なって確実な換気を可能としつつ、熱交換により温度変化の制御を可能とします。まさに、**新型コロナからの復興を経済に循環させる「グリーンリカバリー」の思考**に沿う事業と言えます。

環境省様が予定されている、**新型コロナ対策の高機能換気設備導入の補助金**です。2020年度当初にも実施された**補助事業が継続して実施**されます。**高機能換気設備及び同時に導入する空調設備も補助対象**となります。高機能熱交換型換気設備は、自然給気とファンによる排気の従来型換気システムに比べ、給気・排気ともファンにより行なって確実な換気を可能としつつ、熱交換により温度変化の制御を可能とします。まさに、**新型コロナからの復興を経済に循環させる「グリーンリカバリー」の思考**に沿う事業と言えます。

カーボンニュートラル・グリーンリカバリーを目指し、今後の省エネ・再エネ実現に関して、協働事業として実施させて頂きたく、是非とも、当社にお声掛けください。

エネルギーフロンティアのひとり言

*** エネルギーフロンティア設立10周年お礼 ***

皆さま、新年あけましておめでとうございます。昨年中は、大変お世話になりました。本年もどうぞ、宜しくお願いいたします。

お蔭さまで、エネルギーフロンティア株式会社は、3月14日に、会社設立10周年を迎えさせていただきます。これまで、ご関係者の皆さまのご支援、ご協力に支えられ、1つひとつのプロジェクトに対して、協働事業として日々のお仕事に取り組み、一步ずつ進むことができました。本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

2011年3月11日の東日本大震災の3日後に、運命的に会社設立したスタートを忘れず、謙虚に誠実に、これからも進んでまいります。

年末年始は、滋賀県の琵琶湖周辺で過ごしていました。まさに、大晦日を迎える頃には、しんと雪が降り続き、夜が明けて、久々に数十cmも積もった雪の中でお正月を迎えました。昨年は、雪不足でスキー場が閉鎖されたりして、このまま冬の風物詩としての雪がだんだん見られなくなってしまうのでは、との危機感も抱いていたことを想うと、地球温暖化による気候変動の極端な側面を目の当たりにして、更に危機感が増した気がしました。



2050年カーボンニュートラルが、社会的な最優先目標の1つとして、皆さまの共通認識となり、日本のエネルギーがドラスティックに激変していく時世のなかで、ライフワークとして、エネルギーのフロンティアを目指してチャレンジし続けたいと決意しています。

イベント情報

- ✓ 環境省様は、**温室効果ガス排出量の2019年度速報値**を公表しました。総排出量は12億1,300万トンとなり、前年度比-2.7%の実績であり、**1990年度以降の最少値**を更新しました。**2020年度は新型コロナウイルスの影響**により、経済が停滞した影響により、**更なるCO2排出量削減**が見込まれ、10年後**2030年の温室効果ガス排出量削減目標の設定等**への反映が注目されます。
- ✓ 本編の時事解説のとおり、政府は、昨年12月25日「**2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略**」を公表しました。洋上風力、水素、自動車・蓄電池、航空機、カーボンリサイクルなど、**成長が期待される産業（14分野）**に関して、**現状と課題、今後の取組、成長戦略「工程表」**などが提示されています。一方、産業界からは、**急速な電化への懸念の声**も聞かれ、再エネ由来の電気や水素の製造や熱分野での脱炭素へのシナリオなど、産官民の総力を結集した**カーボンニュートラルへの実践的な議論や政策立案、実効性のある計画策定**が期待されます。
- ✓ 本編で触れましたが、昨年末、各省庁から、**令和2年度第3次補正**および**令和3年度予算「閣議決定」**の内容が公表され、1月に始まる国会承認を経て、各事業の実施に向けた動きが本格化していきます。**エネルギーフロンティアでは、パートナー様との連携により、お客様の省エネ・再エネ設備導入や補助金活用**に少しでもお役に立てる様、ご支援させていただきたいと考えます。ご興味のある方は、当社との**協働事業**をご検討頂たく、何卒、宜しくお願い申し上げます。



〒530-0012 大阪市北区芝田2-3-19 東洋ビル本館3F

TEL : 06-6940-7681

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-9 エリナビル202

TEL : 03-6206-1245

E-Mail : info@energyfrontier.jp HP : <https://www.energyfrontier.jp>